

## 第12回経塚公園利活用連絡会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2024年11月26日（水）19:00～21:00
2. 場所 浦添市役所601会議室
3. 参加者等 会場参加：11名  
浦添市、UR都市機構 沖縄まちづくり支援事務所

第12回経塚公園利活用連絡会（準備活動）では、9月21日（土）に浦添市地域包括支援センターさっとな主催で実施された社会実験イベントの報告、来年1月25日（土）に実施予定の地域防災をテーマとした社会実験イベントの提案とその意見交換を行いました。

公園利活用連絡会は、公園を活用して何かを行いたいという方を、その意見を尊重しながら前向きに応援する場です。公園の利活用に関しては、現在は社会実験として活用する事が可能ですので、身近で小さな活用から大きなイベントまで、様々な活用の仕方をお試しいただくことができます。是非この機会に、仲間づくりや応援を得るために公園利活用連絡会をご活用いただき、「みんなの公園」として地域のための公園利活用を増やしていきましょう！



### ◆浦添市 美らまち推進課 上地いくみ

#### <経塚公園の整備>

- ・平成30年度から令和2年度にかけて、地域住民や事業者等を対象とした作業部会との対話を通し、令和3年7月に今後の経塚公園の指針となる「経塚公園まちづくり計画」を策定し、そのなかで経塚公園の方向性を『地域の健康づくりや市民の健康増進に資する「ヘルシーパーク」』と決定。



#### <整備スケジュール>

- ・緑破線：Park-PFI事業にて整備予定。
- ・青破線：市が整備予定。
- ・P-PFI整備を鑑みて、令和7年度以降順次整備予定である。



<イベント可能区域>

- ・赤ライン：経塚公園区域
- ・青ライン：P-PFIにて整備される区域
- ・緑ライン：現在のイベント可能区域



<令和6年7月実施の社会実験イベント風景>



<公園利活用連絡会について>

- ・公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携ができる、地域の皆さんとの共創を推進する場。アイデア段階のものなども発表いただくことができる。
- ・連絡会を円滑に進めるためのルールも設けている。(イベントガイドライン参照)

<イベント等での利用について>

- ・公園では、散歩したりなので「自由利用」と一次的に独占的に使用する「一次利用（許可が必要）」がある。
- ・10項目が公園で禁止されている。

<P-PFIについて>

- ・P-PFIとは、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
- ・事業予定者は、医療法人社団オレンジ。
- ・事業者との基本協定は令和6年度予定、事業者による施設整備は令和7年度の予定である。

<今年度実施の公園利活用連絡会、社会実験イベント>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7 1月	2月	3月
①公園利活用連絡会(予定)	第10回 6/20		第11回 8/21			第12回 11/26				
②公園利活用企画	企画をお待ちしています。									
		保育園祭り 7/20		ライトアップ わくわく駅伝 9/21				防災 1/25		

◆ P-PFI 事業予定者の紹介

P-PFI 事業予定者である医療法人社団オレンジより、医療法人の事業概要、令和7年度から施設整備が予定されるとの説明がありました。



◆ 「灯りをともそう！ライトアップわくわく駅伝 2024

世界アルツハイマーデー ライトアップ駅伝 in 経塚公園」の結果報告

【概要報告】※当日は事務局が代理報告をした。

○日時：令和6年9月21日 17:30~19:30

○場所：経塚公園及び子むすびの森保育園

○内容：

- ・地域と連携したアルツハイマー病（認知症）への理解を深めるイベントを実施した。
- 9月21日は「世界アルツハイマーデー」であり、世界中でアルツハイマー病に関する認識を高め、患者や家族に援助と希望をもたらすイベントが実施された。
- ・今年度は、「認知症になっても安心して住める街・浦添」というスローガンを掲げて浦添総合病院から今回協力いただいた事業所等を回りながら経塚公園まで駅伝を行った。
- ・経塚公園では、キッチンカーや協力いただいた事業所の展示を行ったほか、駅伝の様子をライブ配信した。
- ・当日は松本市長もご参加いただき経塚公園へゴールした。また、経塚公園に隣接する、特別養護老人ホーム「ありあけの里」の皆さんにも参加していただくために、ゴール後、ありあけの里に迎えに行き、ありあけの里の皆さんと2度目のゴールをした。
- ・踊る獅子があらわれ、浦添介護福祉会の皆様の演奏に合わせて、参加者はカチャーシーを踊った。

## ◆「防災」をテーマとした社会実験イベントについて

### <WAKIMIZU からのご提案>

- ・昨年 12 月に避難訓練体験会を実施した。今回は来年 1 月に地域防災をテーマとしたイベントを開催したい。
- ・イベントの目的は、1) 経塚公園周辺の社会福祉施設等が一時避難所として経塚公園に集合することを通じて避難時の課題等を発見する機会とする、2) 防災・避難の知識を得る、3) 経塚公園を一時避難所として公園に集合して顔見知りの機会とする等である。
- ・イベントの内容は、防災知識のレクチャー、炊き出し、UR さんのポリ袋を使ったコート作成ワークショップのほか、その他簡単なワークショップや遊び、地域防災関連の取り組み展示などを想定している。
- ・実施日候補：2025 年 1 月 25 日（土）
- ・避難参加者参加団体、ワークショップ実施者、出店者、当日のヘルプ、備品等協力者募集をしたい。



### <UR からの発表>

- ・昨年 12 月に避難訓練体験会に参加しポリ袋を使ったコート作成のワークショップを行った。当日は寒かったのでとても好評だった。一方、インフルエンザが流行していたために参加できなかった方もおられた。
- ・今回のイベントについて、事前に規模感がわかれば、UR としての応援の検討ができる。また、今回もポリ袋を使ったコート作成のワークショップを行う予定であるが、その際に手伝っていただける人がほしい。



### <意見交換の概要>

- ・どのくらいの参加者を募るのか、今回のイベントの規模感を検討することはとても重要である。
- ・当自治会は、指定避難場所が遠い。経塚公園は距離的には近いが高低差があり、高齢者が多い、自治会の住民にとっては行くのが厳しい。JICA は近い場所にあるが指定避難場所ではない。
- ・今回、経塚公園周辺の社会福祉施設等や保育所などの多様な方々の参加が想定される。障がいを持つ方、子どもの参加など、多様な方が参加できるプログラムにする必要がある。
- ・以前、煙避難訓練を実施したがインパクトがあった。「避難訓練」というと、参加者が少な



い可能性があるが、このようなインパクトのある内容であれば、自治会からの参加者もあると思う。

- ・ イベントタイトルや野菜の販売をするなど、楽しさを出す工夫が必要ではないか。防災、避難訓練を全面にだすと、そのテーマに関心がある人しか来ない。
- ・ インパクトある言葉として、「サバイバル」などもよいのではないか。
- ・ WAKIMIZU 単独では実施が難しいので、みんなで実施するという形を望んでいる。
- ・ 火をおこす方法として、ロケットストーブというものがある。排水溝などをも利用して使うことができるものだが、燃料（おがくず、端材など）を提供できるかもしれない。
- ・ 公園の防災用具を取り扱っているが、かまど（かまどベンチ）もあり、貸出は可能である。ロケットストーブも取り扱っている。
- ・ 地域の防災マップなどの展示が可能である。（防災ルート提示に関しては、いざという時に地域がどのような状況になっているかを想定できないので、防災ルートなどを示すことはできない）
- ・ 消防署や自衛隊への呼びかけなどもあるとよいのではないか？
- ・ 能登半島地震で福祉避難所の開設、運営、自宅への復帰を支援したことがある。まずはみなさん個々のアイデアをイベントに活かしてほしい。またイベントを通じて、顔がみえる関係性を構築してほしいと思う。
- ・ 今後イベントの実施に向けて、公園利活用連絡会の LINE で意見交換を深めたい。ぜひ LINE 登録をお願いしたい。

#### <その他質疑>

- ・ 津波が来た時に避難しないといけない地域はどのあたりか。
- 津波の規模によって避難が必要な地域は変わる。
- ・ ガマを避難場所や避難物資を格納する倉庫として活用できないか。
- 鍵がないので倉庫として活用するのは難しいのではないか。
- ・ 防災食の調理など、実際に経塚公園で火をおこすことはできるのか。
- 市としては、安全配慮をした上で社会実験ということであれば、実施可能かどうか検討はできる。

以 上